

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	60	①利用者様全員が希望のかかりつけ医に受診 していて、人によっては、2～3ヶ所専門医を受 診されていることから、平日のほとんどが受診 の待ち時間も長く、多くの時間、スタッフ、車を 受診に当てている。 家族の多くはホーム側での受診に期待してい る。	①外出できる時間の確保と工夫に努める。	1-①受診後等の時間を利用し、予め把握して いた希望の場所へ行ける機会を工夫する。 1-②予定のない週末(受診、会議、スケール、 行事)を利用し、外出の機会を設ける。 1-③個別、または少人数対応の外出の場合、 残る利用者様の気持ちへ配慮する。	12か月
2		②認知症の症状から、行きたい場所が表現で きない。	②行きたい所、行きたくなるような所をジャン ルに分けて提案する。	2-①日頃の会話から、行きたいと感じている場 所、合いたい人の情報を収集しておく。 2-②自宅や兄妹、友人の所、買い物、墓参、 外食等、行き先についてポスター等でわかりや すく提案する。	か月
3		③遠方への外出の計画もあるが、人員、福祉 車輛と、福祉車輛を利用される方の割合のバラ ンスがとれない。 車イスの持ち運び限度、費用面について具体 的に考えると、難しい部分が多い。	③普段行けないような所へ出掛け、日常と は違う感情を感じていただく。	3-①家族や兄妹、近所の方等、協力できる人が居 るか確認する。また、身元引受人に、前記の方々の 支援を受けて良いかを確認する。 3-②チャシ等を通し、費用がかかること、支援の有 無、利用者様の参加・不参加の決定等を確認し、人 員、車、車イス、ボランティア等の配置を考える。	か月
4		④外出のリスク管理について	④危険な状態が少ない計画を立てる。	4-①リスクが最小限になるように計画を行う。 4-②必要時は外出のリスクを十分に説明し、 本人様や家族様の同意を得る。	か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。